

# チエコ・デザイン100年の旅

京都国立近代美術館  
[岡崎公園内]

2020年  
3月6日[金]—5月10日[日]

- 開館時間 9時30分—17時(金曜、土曜は20時まで)ただし、入館は閉館の30分前まで | ●休館日 毎週月曜日(ただし5月4日(月・祝)は開館)
- 主催 京都国立近代美術館、読売新聞社、チェコ国立プラハ工芸美術館 | ●後援 駐日チェコ共和国大使館、チェコセンター東京
- 協賛 ルフトハンザカーゴAG | ●企画協力 株式会社イデップ
- 観覧料 一般=1,400(1,200)円、大学生=1,000(800)円、高校生=500(300)円
- \* ( )内は、前売りと20名以上の団体料金 | \*中学生以下、心身に障りがある方とその付添者1名は無料(要証明)
- \* 前売券の発売期間は1月10日から3月5日まで(会期中は当日券のみ発売)
- \* 本展の観覧券でコレクション展もご覧いただけます
- 前売券の主な発売場所 ローソンチケット[Lコード:52131]ほか、主要プレイガイド、コンビニエンスストアなど(チケット購入時に手数料がかかる場合があります)
- お問合せ 京都国立近代美術館 | 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町  
Tel: 075-761-4111 | <http://www.momak.go.jp/>

March 6 – May 10 2020

The National Museum of  
Modern Art, Kyoto



パヴェルヤナク  
《クリスタル》(箱型小物入れ)  
1911年  
チェコ国立プラハ工芸美術館蔵  
Pavel Janak  
Crystal-shaped box  
1911  
Collection of The Museum of  
Decorative Arts in Prague



ヴァダヴ・シュパリア  
《公衆》(戯劇)  
1921年  
チェコ国立プラハ工芸美術館蔵  
Vadav Späla  
Devil – box  
1921  
Collection of The Museum of  
Decorative Arts in Prague

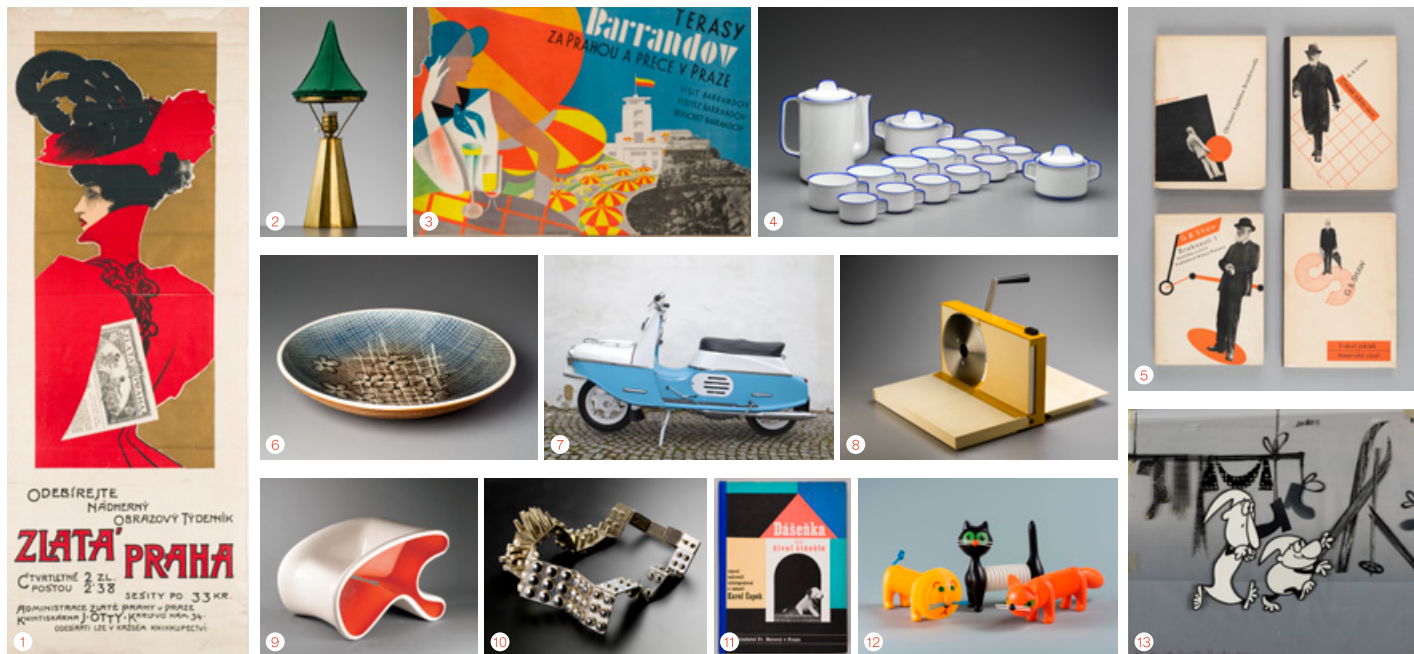
100 LET ČESKÉHO  
Národní muzeum moderního umění, Kjóto  
od 6. března do 10. května. 2020

# 100 YEARS OF CZECH DESIGN



ラドスラフ・シュタハ  
《茶器》(ティーセット)  
1931年  
チェコ国立プラハ工芸美術館蔵  
Ladislav Sutnar | Tea set | 1931  
Collection of The Museum of  
Decorative Arts in Prague

芸術家アルフォンス・ミュシャ(ムハ)が生まれ、またフランス絵画から影響を受けたチェコ・キュビズムと呼ばれる独自の様式を生み出したチェコ。さらに、アニメやおもちゃに至るまで、20世紀のチェコは世界を魅了する数々のデザインを生み出した国として知られています。しかし、その100年を振り返れば、戦争や占領そして政変といった刻々と変わる国家の情勢にデザイナーたちが翻弄された世紀でもありました。●本展はチェコ・デザインの100年を、家具やプロダクト、ポスターなど、チェコ国立プラハ工芸美術館所蔵の作品を中心とした約250点の作品により紹介します。歴史軸に沿って紹介される作品は、チェコひいてはヨーロッパの情勢が20世紀のデザインに与えた影響の、一断面を示すものとなるでしょう。●また京都国立近代美術館では、本展の関連展示として、大阪中之島美術館準備室のご協力により、同美術館所蔵のチェコの書籍をブックデザインの観点から紹介します。



1 ヴィクトル・オリヴァ | ポスター「週刊誌 黄金のプラハ」| 1898年 | UPM(チェコ国立プラハ工芸美術館) 2 バヴェル・ヤナーク | テーブルランプ | 1913年 | UPM 3 アレクサンデル・ヴラジミール・フルスカ | ポスター「ブランドフ・テラス」| 1932年 | UPM 4 フランチšek・ミーšek | カフェモカセット | 1928年 | UPM 5 ラジスラフ・ストナル(表紙デザイン、タイポグラフィ) | ジョージ・バーナード・ショー著「絶対に分らないこと」1931年(右上) | 『キャプテン・プラスパウンドの改宗』1932年(左上) | 『林檎馬車』1932年(右下) | 『プランコ・ボスネットの顔見せ』1933年(左下) | Private Collection 6 オットー・エケルト | 小鉢 | 1940年代 | UPM 7 ヤロスラフ・フランチšek・コフ | チェゼタ・スクーター「501型」| 1957年 | Private Collection 8 ハンドスライサー「Ideal 172」| 1970-80年代 | UPM 9 ジェリー・コザ | 多機能椅子《でんぐり返し》| 2002年 | UPM 10 ダナ・ベズジェコヴァー | ネットレス《正方形》| 1999年 | UPM 11 カレル・タイグ(表紙デザイン)、カレル・チャベック(挿絵、写真) | カレル・チャベック著「ダーシェンカあるいは子犬の生活」初版 | 1933年 | UPM 12 リブシェ・ニコロヴァー | 《ネコのアコーディオン》| 1963年 | 《ライオンのアコーディオン》《キツネのアコーディオン》| 1964年 | Private Collection 13 ズデニェク・スメタナ(美術) | セル画「苔とシダのお話」より | 1968年 | Private Collection

RELATED EVENTS [関連イベント]

関連イベントについては当館ウェブサイトにて告知いたします

●講演+対談/講演会

「建築探偵 チェコを歩いて日本を知る」

4月11日[土] | 14:00-16:00

講師——藤森照信 [東京大学名誉教授・江戸東京博物館館長]

対談——ヘレナ・チャプコヴァー [立命館大学准教授] × 本橋仁 [当館特定研究員]

「チェコ・デザインとガラス工芸」

4月12日[日] | 14:00-15:30

講師——ジタ・プロシュコヴァー

[チェコ国立プラハ工芸美術館ガラス部門学芸員]

会場 京都国立近代美術館1階講堂 | 定員 先着100名(当日午前11時より1階受付にて整理券を配布します。整理券はひとり1枚のみお渡しします) | 参加費 無料(本展の観覧券が必要です)

●映画——チェコのヌーヴェル・バーク

『ひなぎく』 | 3月6日[金] | 18:00-

監督——ヴェラ・ヒティロヴァー

『パーティーと招待客』 | 3月7日[土] | 14:00-

脚本・監督——ヤン・ニェメツ  
原案・脚本・美術監督・衣装——エステル・クルンバホヴァー

解説(両日)——山下宏洋 [イメージフォーラム・ディレクター]

会場 京都国立近代美術館1階講堂 | 料金 520円 | 定員 先着100席 | 配給 チェスキー・ケー | 協カ シアター・イメージフォーラム

\*映画の詳細につきましては当館ウェブサイトをご覧ください

●同時開催 4階コレクションギャラリーにて

キュレトリアル・スタディズ13  
チェコ・ブックデザインの実験場  
1920s-1930s  
大阪中之島美術館のコレクションより  
3月4日[水]-5月10日[日]

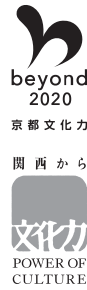
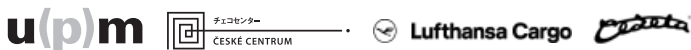
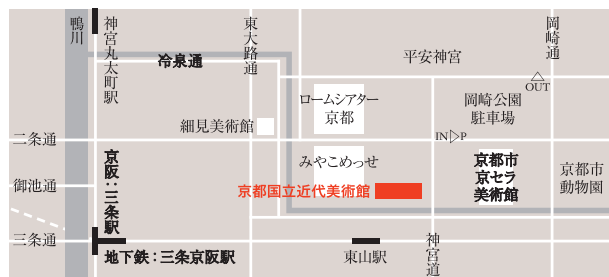
●一日かぎりの託児サービス

「チェコのおもちゃ箱」  
3月14日[土] 10:00-17:00

2時間交代 | 1回あたり5名まで  
各回完全入れ替え制 | 事前予約制(ウェブにて)



交通案内 JR・近鉄・バスをご利用の方 ●JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス5番 銀閣寺・岩倉行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ | ●JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス100番(急行)清水寺・銀閣寺行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ | 阪急電鉄・京阪電鉄・バスをご利用の方 ●阪急烏丸駅・京都河原町駅・京阪電鉄三条駅から市バス5番 銀閣寺・岩倉行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ | ●阪急烏丸駅・京都河原町駅・京阪電鉄四条駅から市バス46番 祇園・平安神宮行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ | 市バス他系統をご利用の方 ●「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩5分または「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約10分 | 地下鉄をご利用の方 ●地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分 | \*当館には駐車場がございません。近隣の有料駐車施設をご利用ください。\*岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。



「キュレトリアル・スタディズ」(ソウ)国立京内工業教育研究所のためのデザイン | 1930年頃